

2025年6月23日

各 位

会社名 株式会社スマレジ
代表者名 代表取締役 宮崎 龍平
(コード番号：4431 東証グロース)

EC一元管理システム「アシスト店長」と機能連携を開始

iPadなどのタブレットを利用したクラウドPOSレジ『スマレジ』を展開する株式会社スマレジ（本社：大阪府中央区、代表取締役：宮崎龍平、以下「当社」）は、子会社の株式会社ネットショップ支援室（本社：東京都港区、代表取締役：竹澤 洋一、以下「ネットショップ支援室」）が提供するEC一元管理システム『アシスト店長』と機能連携（新APIによる接続）を開始しました。

スマレジ × アシスト店長
by NETSHOP SUPPORTERS

機能連携を開始

～ 新API連携で実店舗と
ECの垣根を超える ～

本取り組みは、2024年12月の完全子会社化後に始動したPMI「フェーズ1」の一環として、従来の連携からスマレジのプラットフォームAPIを活用した高度なデータ連携へと進化させたものです。両社がこれまでに蓄積してきたノウハウを融合し、オフラインとオンラインの垣根を越えた統合的な販売体制の強化を進めてまいります。

■ 背景

近年、実店舗とECをシームレスにつなぐオムニチャネル戦略が主流となりつつある一方で「在庫管理が煩雑」「販売状況の把握が難しい」「顧客情報が分断されている」など、現場では多くの課題が残されています。当社ではこうした課題を解決すべく、実店舗とECをつなぐシステム連携の再構築に着手。今回、スマレジとアシスト店長間でのデータ連携を刷新し、販売・在庫・顧客情報をよりスムーズに統合管理できる体制を整えました。

■ 本連携の概要

スマレジに登録された商品情報や在庫情報と、アシスト店長に取り込まれたEC・モールの受注情報が自動連携し、実店舗とECの販売管理を一元化します。



■ 今回の刷新により実現できること

① 在庫管理の効率化と顧客満足度の向上

実店舗とECの在庫情報が自動で同期され、過剰在庫や在庫切れといったトラブルを未然に防ぎます。在庫差異によるクレームや誤出荷対応の工数を削減し、業務負荷の軽減や顧客満足度の向上を実現します。

② 複数チャネルの売上・顧客分析による販促強化

複数チャネルの売上・顧客分析実店舗やモールなど、複数チャネルの売上や顧客データをアシスト店長で集約・可視化し、CPM分析やRFM分析などの指標で優良顧客を抽出できます。顧客一人ひとりに合わせた精度の高い販促施策を通じ、納得感のある購買体験を創出します。

③ サポート品質の向上

カスタマーサポートにおける対応履歴やコミュニケーション履歴をアシスト店長上で蓄積・共有することで属人化を防ぎます。一貫性のある高品質なサポートにより、顧客の信頼獲得を促します。

お問い合わせ先

スマレジIR担当： ir_corp@smaregi.jp